

---

# 夢の配達人

泉麗葉

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

夢の配達人

### 【Nコード】

N4756Z

### 【作者名】

泉麗葉

### 【あらすじ】

1年に一度の夢の配達。

愚痴りながらも毎年「オレ」が夢を配り続ける理由とは？

ああ、今年も寒い。

なんだってこんな寒い中オレは働いてるわけ??

人々は安眠中、オレは仕事。

ましてや寒いとなるとますますやる気をなくす。

オレの仕事は1年に一度、子供たちに夢を届ける仕事。

とは言っても最近の子供はゲームが欲しいだのお金が欲しいだの、なんとも夢のない夢ばかり。

しかも真面目に働いているのに、「これって不法侵入じゃね?」「みたいな笑い話まで出てきやがった。

そろそろオレもこの仕事をやめてもいいと思う。

だけど、オレは続けてる。

毎年毎年寒い中、街中を走りまわって夢を届け続ける理由。

時々、いるんだ。

夢のない子供ばかりのこのご時世にしつかり靴下を用意して、オレが来るのをさつきまで待っていたかのように布団を半分しか掛けずに寝ている子供がさ。

決まってそいつらの顔は幸せそうなんだ。

それを見るのが楽しみで、懲りもせずに毎年夢を配り続けている。

風邪ひくぞ、なんて言いながら布団を掛けなおしてやり靴下に夢を詰めてやる。

まあ、時々靴下に入らない夢もあるけどな。

そうそう、これには2つの意味があつてな。

1つはでっかいプレゼントを頼むやつ。

もう1つはものすごく稀なんだが、「サンタさんに会えますように」

なんて夢なんだ。

また来年もオレは夢を配っているだろう。

(後書き)

初めまして、泉麗葉と申します。

まったくの文章初心者が初めて短編小説を書きました。

クリスマスも近くなってきたのでサンタ目線の話を書いてみました。

もしこうだったら面白いなあーと思ひまして(笑)

拙い文章ですがよろしかったら感想をいただけると泣いて喜びます。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4756z/>

---

夢の配達人

2011年12月16日01時53分発行